

医療機器開発のスペシャリストを育む充実のカリキュラム

下記は2018年度の講義内容です。
今年度は一部が変更になります。

1 1日目	I	精神医学の臨床現場と医療機器	大阪大学医学系研究科精神医学	田中 稔久		大阪大学医学系研究科精神医学	田中 稔久
	II	呼吸器外科診療の実際	大阪大学医学系研究科呼吸器外科学	新谷 康			
	III	心臓血管外科の現場から	大阪大学医学系研究科心臓血管外科学	吉川 泰司			
	IV	糖尿病の治療 ～治療の現状と根治に向けた取り組み～	大阪大学医学系研究科内分泌・代謝内科学	宮下 和幸			
2 2日目	I	放射線治療で求められる医療機器	大阪大学医学系研究科放射線治療学	水野 裕一		大阪大学医学系研究科放射線治療学	水野 裕一
	II	IVR（画像下治療）の実際とデバイスの現況	大阪大学放射線医学講座/医学部附属病院 IVRセンター	大須賀 慶悟			
	III	麻酔集中治療領域における医療機器の現状と今後の展望	大阪大学医学部附属病院集中治療部	坂口 了太			
	IV	人工関節の現状と展望	大阪大学医学系研究科官制御外科学（整形外科）	坂井 孝司			
5 5日目	I	医療機器開発におけるマーケティングと出口戦略	サムエルプランニング株式会社	宮坂 強		サムエルプランニング株式会社	宮坂 強
	II	医療機器開発における組織マネジメント	サムエルプランニング株式会社	宮坂 強			
	III	医療機器開発におけるビジネス分析	エバマーケティング合同会社	津嶋 誠			
	IV	医療機器における承認・認証制度	医療機器センター附属医療機器産業研究所	石黒 克典			
6 6日目	I	リスクマネジメントと ISO 14971	医療機器安全研究所	萩原 敏彦		医療機器安全研究所	萩原 敏彦
	II	医用電気機器と IEC 60601-1	医療機器安全研究所	萩原 敏彦			
	III	EMC（電磁両立性）の実際	一般財団法人日本品質保証機構（JQA）	芝田 侯生			
	IV	ユーザビリティエンジニアリングと IEC 62366-1	株式会社 ULJapan	吉田 賢			
9 9日目	I	医療機器開発に必要なデザインとクリエイティビティ	株式会社 VORONOI	大浦 イッセイ		株式会社 VORONOI	大浦 イッセイ
	II	医療機器開発における臨床ニーズのクリエイティビティ	森ノ宮医療大学	西垣 孝行			
	III	漏れ電流・EPRの予備知識	大阪大学医学部附属病院臨床工学部	楠本 繁宗			
	IV	【機器実習】漏れ電流・EPR実習	大阪大学医学部附属病院臨床工学部	楠本 繁宗			
	V	【機器実習】除細動器とAED	日本光電工業株式会社				
	VI	【機器実習】パルスオキシメーター・血圧計	日本光電工業株式会社				
10 10日目	I	医療機器開発のためのリスクマネジメント実習	医薬品医療機器総合機構（PMDA）	岩元 真		医薬品医療機器総合機構（PMDA） 吉田・西枝法律事務所	岩元 真 吉田 昌功
	II	医療機器編（市販前・市販後）	吉田・西枝法律事務所	吉田 昌功			
	III						
	IV						
	V	医療機器開発のための知財実習	特許業務法人 前田特許事務所	長谷川 雅典			
	VI						
13 13日目	I	我が国の医療機器開発環境の現状と近未来 - 医工・産学官連携による医療機器のイノベーション戦略 -	大阪大学国際医工情報センター	妙中 義之		大阪大学国際医工情報センター	妙中 義之
	II	看護の立場から見る医療現場と医療機器 ～高齢化時代の病院と認知症ケアの現場から～	市立豊中病院	大久保 和実			
	III	機動動脈穿刺に適した手台開発をして辿り着いた場所 ～商品化・販売までの道のり～	新久喜総合病院	澤海 綾子			
	IV	人工網膜の研究開発	大阪大学医学系研究科	神田 寛行			
	V	福祉ロボットの安全設計と商品化の課題	大阪工業大学	本田 幸夫			
14 14日目	I	体外診断用機器、試薬の開発	シスメックス株式会社	浅野 薫		シスメックス株式会社	浅野 薫
	II	ベンチャー企業にあるものとなないもの ～ハイパーサーミア機器の開発を通じて～	株式会社アドメック	中住 慎一			
	III	医療機器開発から販売までの取り組み ～医工連携と参入課題への対応～	山科精器株式会社	保坂 誠			
	IV	カメラから胃カメラ、そして内視鏡の時代へ	医療機器センター付属医療機器産業研究所	高山 修一			
	V	ダーウィンの海にもまれながら	株式会社 IFG	森 和美			
	VI	医療機器ベンチャーにおける資本戦略	大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社	水原 善史			
3 3日目	I	消化器診療における内視鏡機器の意義と展開	大阪大学医学系研究科消化器内科学	林 義人		大阪大学医学系研究科消化器内科学	林 義人
	II	わかったようでわかっていない胎児の生理学的指標	大阪大学医学系研究科産科学婦人科学	木村 正			
	III	救命救急と医療機器	大阪大学医学系研究科救急医学	竹川 良介			
	IV	消化器外科の臨床現場と医療機器	大阪大学医学系研究科消化器外科学	高橋 剛			
4 4日目	I	泌尿器診療における工医学	大阪大学医学系研究科泌尿器科学	野々村 祝夫		大阪大学医学系研究科泌尿器科学	野々村 祝夫
	II	循環器医療最前線 疾患・病理編	大阪大学医学系研究科循環器内科学	坂田 泰史			
	III	循環器医療最前線 治療編	大阪大学医学系研究科循環器内科学	坂田 泰史			
	IV	脳神経外科領域における医療機器	大阪大学医学系研究科脳神経外科学	押野 悟			
7 7日目	I	生物学的安全性試験	一般財団法人 食品薬品安全センター	金澤 由基子		一般財団法人 食品薬品安全センター	金澤 由基子
	II	医療機器開発のプロジェクトマネジメント～ニーズ探索・コンセプトデザイン・開発インプット～	朝日インテック株式会社	西内 誠			
	III	医療機器をとりまく行政の役割と施策	厚生労働省	渡利 彰浩			
	IV	QMSとISO13485	一般財団法人 日本品質保証機構（JQA）	笹尾 逸郎			
8 8日目	I	医療機器開発と販売（業態・業許可・遵守事項）	株式会社 吉田製作所	山口 幸宏		株式会社 吉田製作所	山口 幸宏
	II	プログラム医療機器における必須知識	GEヘルスケア・ジャパン株式会社	大竹 正規			
	III	医療機器と臨床評価	医薬品医療機器総合機構（PMDA）	方 眞美			
	IV	医療機器開発と保険償還 医療機器の開発から販売、市販後まで ～保険制度の下で～	京セラ株式会社	谷岡 寛子			
11 11日目	I	【機器実習】ペースメーカー・ICD・CRTD	日本メドトロニック株式会社			日本メドトロニック株式会社	
	II	【機器実習】リードスペースメーカーとシミュレーター実習	日本メドトロニック株式会社				
	III	【機器実習】血糖値センサー	PHC株式会社				
	IV	【機器実習】心電計と携帯型心電計	フクダ電子近畿販売株式会社				
	V	【機器実習】ポリソムノグラフィと持続的自動気道陽圧ユニット（CPAP）	フクダライフテック関西株式会社				
	VI	【機器実習】腹膜透析（PD）機器：自動腹膜灌流装置と腹膜灌流用紫外線照射器	バクスター株式会社				
12 12日目	I	【機器実習】血液透析機器	ニプロ株式会社			ニプロ株式会社	
	II	【機器実習】内視鏡機器	オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社				
	III	【機器実習】鏡視下手術機器	オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社				
	IV	【機器実習】自動制御機能付き歩行器	RTワークス株式会社				
	V	【機器実習】3次元画像解析システム（画像診断ワークステーション）	富士フィルムメディカル株式会社				
	VI	【機器実習】義肢装具	川村義肢株式会社				
15 15日目	I	眠りを見える化する脳波センサーの開発と実用化	株式会社プロアシスト	宮田 愛子		株式会社プロアシスト	宮田 愛子
	II	医療機器販売ビジネスの実際と医工連携	株式会社カワニシホールディングス	前島 洋平			
	III	医療機器の保険診療上の評価 ～求められるエビデンス～	厚生労働省	古元 重和			
	IV	医療機器開発と臨床研究法	国立病院機構	楠岡 英雄			
	V	歯科臨床医のアイデアから大学発ベンチャー起業へ ～職務発明から、特許/開発/事業化、そして今～	大阪大学歯学研究所・株式会社アイキャット	十河 基文			
	VI	日本発、新しいタイプの外科用止血材の開発と実用化	三洋化成工業株式会社	前田 広景			
16 16日目	I	医師が経験を共有するためのクラウドサービス事業例	株式会社ハート・オーガナイゼーション	菅原 俊子		株式会社ハート・オーガナイゼーション	菅原 俊子
	II	Mobile×Cloudが変える医療現場のコミュニケーション～医療従事者用コミュニケーションアプリ「Join」の開発	株式会社アルム	坂野 哲平			
	III	Let's enjoy medical device development! ～在宅医療の時代を見据えたモバイル心電計の開発を通じて～	株式会社イメージワン	岡庭 貴志			
	IV	シート型体振動計「眠りSCAN®」の開発と事業化	パラマウントベッド株式会社	木暮 貴政			
	V	IoTがもたらすこれからのヘルスサポート	アルカディア・システムズ株式会社	相阪 渉			
	VI	慢性疾患でのPHRの臨床利用と有用性～医師がアプリを処方する時代～	株式会社ウェルビー	比木 武			

※ 敬称略